

第 1 回高知県スポーツ振興県民会議（競技力向上部会）
スポーツ振興の更なる強化対策の論点

論点①

人口減や新型コロナウイルス感染症の影響により変化するスポーツ環境への対策について【共通】

- ・人口減によって地域におけるスポーツ活動の環境が変化の中で、選手の育成・強化の充実を図るための対策について
- ・アフターコロナ及び With コロナの社会において選手の育成・強化の充実を図るための対策について
- ・障害者スポーツの競技力向上を組織的に推進する仕組みづくりについて

(現状・課題)

- ・地域によっては子供のスポーツ環境に空白がみられる。
- ・人口減等により、今後、運動部活動やスポーツ少年団などの活動の継続が懸念される。
- ・新型コロナウイルス感染症により、合同練習などの集団での活動が制限されている。
- ・障害者スポーツにおいては、競技力の向上に向けて選手や指導者の育成、スポーツ医科学面からのサポートなどの支援が十分でない。

論点②

選手の育成・強化の質を高めるために必要なことについて（競技力向上に関する取組の状況を踏まえて）

- ・競技力向上に関する取り組みの現状を踏まえた今後の対策について
- ・障害者スポーツの競技力を高めるための対策について

(現状・課題)

- ・各競技団体における選手の育成・強化において、中長期計画をもとに PDCA のさらなる徹底が必要。
- ・新型コロナウイルス感染症により、各競技の強化活動やスポーツ医科学のサポートが制限されている。
- ・選手の育成・強化において、スポーツ医科学面からのサポートが一部の強化選手に限定されている。
- ・公認指導者資格を有する指導者のうち、上級資格を取得している指導者が少ない競技団体がみられる。
- ・障害者スポーツにおいて、全国大会を目指す選手や団体が少ない。
- ・障害者が活動できるチームや団体は、高知市周辺に集中しており、身近な地域で活動できる環境が十分でない。